

12月に文庫に入った大人の本

大人の本・新刊

『12の贈り物』(シャーリーン・コスタンゾ作 黒井健訳・絵 ポプラ社 2003) 『ことり』(小川洋子著 朝日新聞出版 2012) 『東京プリズン』(赤坂真理著 河出書房新社 2012) ※request
『ある男』(木内昇著 文芸春秋 2012) 『赤猫異聞』(浅田次郎著 新潮社 2012) 『われらが背きし者』(ジョン・ル・カレ著 岩波書店 2012) ※request
『猫の領分』(南木佳土著 幻戯書房 2012) 『さよなら、クリストファー・ロビン』(高橋源一郎著 新潮社 2012) 『旅随筆集 麦の冒険』(佐伯一麦著 荒蝦夷 2012) 『祝祭の書物—表現のゼロをめぐる』(安藤礼二著 文芸春秋 2012) 『ドストエフスキー 父殺しの文学 上・下』(亀山郁夫著 日本放送出版協会 2004) ※request
『詩集 死の淵より』(高見順著 日本図書センター 2004) 『女帝の古代日本』(吉村武彦著 岩波新書 2012) 『百年前の日本語』(今野真二著 岩波新書 2012) 『アイルランド紀行』(榎木伸明著 中公新書) 『わたしの蜻蛉日記』(瀬戸内寂聴著 集英社文庫 2012) 『わたしの藤沢周平』(NHK「わたしの藤沢周平」制作班編 文春文庫 2012) 『ハリネズミと狐—戦争と平和の歴史哲学』(バーリン著 岩波文庫)
『忘れられた日本人 IV 昭和の人』(佐野真一著 毎日新聞社) 『この国はどこで間違えたのか—沖縄と福島から見た日本』(徳間書店出版局編 徳間書店 2012) 『現代語古事記』(竹田恒泰著 学研 2011) ※以上3冊 request 『柿日和—喰う、詠む、登る』(坪内稔典著 岩波書店 2012)
『ビザンティン四福音書写本 挿絵の研究』(龍口美香著 創元社) ※専門書ですが、娘の友人の力作
『はなちゃんのみそ汁』(安武信吾・千恵・はな著 文芸春秋 2012) 『贖罪の奏鳴曲』(中山七里著 講談社 2011) 『伝える力』(池上彰著 PHP ビジネス新書)以上3冊寄贈受けました♡

12月に文庫に入った子どもの本

子どもの本・絵本

『クリスマスってなあに?』(ジョン・G・ロビンソン文・絵 岩波書店 2012) 『もぐらくんとクリスマス』(ハナ・ロスコチロヴァー作 ズデネック・ミレル絵 偕成社 2012) 『サンタさんたらもう!』(ひこ・田中作 小林万希子絵 WAVE 出版 2012) 『いちにちのりもの』(ふくべあきひろ作 かわしまななえ絵 PHP 研究所 2011) 『ハダくまさん』(ニコラス・オールドランド作 落合恵子訳 クレヨンハウス 2011) 『どうして十二支にネコ年はないの?』(ドリス・オーゲル文 メイロ・ソー絵 徳間書店 2010) 『そらのいろって』(ピーター・レイノルズ文・絵 主婦の友社 2012) 『パンプキン』(ケン・ロビンス写真&文 BL 出版 2007) 『アイランド』(ロナルド・トルマン/マイヤ・トルマン作 西村書店 2012) 『ヤモリのモリヤさん』(世田谷トラストまちづくり) 『ことばあそびうた』(谷川俊太郎作 福音館書店) 『フンボルトくんのやくそく』(ひがしあきこ作 絵本塾出版) ※出版社寄贈
読み物ほか
『池のほとりのなかまたち』(ラッセル・ホーバン作 松浦佐知子訳 たかおゆうこ絵 徳間書店 2004)
『のんきなりゅう』(ケネス・グレム作 インガ・ムーア絵 中川千尋訳 徳間書店 2006) ※古典中の古典 『ルドルフとスノーホワイト』(斎藤洋作 杉浦繁茂絵 講談社 2012) ※ルドルフ最新作
『雨上がりのメデジン』(アルフレッド・ゴッス=セルダ作 宇野和美訳 すずぎ出版 2012) 『エリザベス女王のお針子』(ケイト・ペニントン作 徳間書店 2011) 『グリム姉妹の事件簿2, 3』(マイケル・バッケリー作 三辺律子訳 東京創元社 2009・2011) ※request 『クジラと海と』(水口博也文 アリス館) 『しゃべる詩 あそぶ詩・きこえる詩』(はせみつこ編 飯野和好絵 富山房 1995)
『やさしいたべものえほん 1』 『くだもの—たべものえほん』(みえだみなこ作 ポプラ社)

寄贈(広瀬さんから) 以下、書名のみ列記します。

読み物: 『くまのごろりん—まほうにちゅうい』 『シールの星』 『ジョイ子とサスケ』 『糸子の体重計』 『じったんのオムライス』 『おまけ鳥』 『ちゃわん虫とぼんこつラーメン』 『山の子みや子』 『天までひびけ! ドンドコ太鼓』 『てんせいくん』 『小道の神さま』 『遠く不思議な夏』 『あこがれ! 卓球部』 『象のいない動物園』 『名犬ボニーはマルチーズ』 『アヤと魔女』 『大地のランナー』
『どうしてアフリカ? どうして図書館?』 『身近なさかなのものがたり』 ♡まだまだ続々入ってきます♡

読んでみて!

『サースキの笛がきこえる』(エロイーズ・マッグロウ作 斉藤倫子訳 丹地陽子絵 偕成社 2012)

あなたは妖精(ようせい)って本当にいた、いる、と思いますか? 昔話には妖精の話がたくさん出てきますね。人間がだまされるお話が多いですが、このお話は、ある若い夫婦のもとから、かわいい赤ちゃんがさらわれて、代わりに妖精がおいでいかれたところから物語がはじまります。ふつう、取り替えられた人間の赤ちゃんがどうなったか、などがメインテーマなのですが、このお話では、妖精のくにかからやってきた女の子(と言っても妖精の年のとり方は尋常ではないので、本当は何百歳かもしれません)が、姿や、することがちょっと違うために、人間の世界でつまはじきにされたり、疫病神に思われたりしながら、さらわれていった人間の赤ちゃんを妖精の国から救い出し、自分はどこかへ旅立っていくまでを描いています。このサースキという妖精がかつて自分の生まれ育ったところへ帰らずどうして人間の世界をさすらうことになるのか、何か、この人間世界の現実にも似た哀しさや不条理さがある、胸が痛くなります。

でも、あちらこちらに昔話の種がふんだんにちりばめられていて、ドキドキします。高学年の人に読んでもらいたいなあ、と思います。(さ・ら)



ホットニュース

池の区民マラソン大会で、T君、となりのKちゃん、好成績！

文庫あれこれ◆急に寒くなりました。夕べは文庫で床暖も空調暖房もががんつけても体があたたまりませんでした。(まあ、文庫中ドアなしですからね)◆だからでしょうか、途中、新幹線から雪化粧した富士山が青空にはっと息をのむほど美しく、その姿は勇壮でした。◆昨日朝、栃木県北に住まう夫さんから、仕事場へ行くとしたら凄い雪だよ、と電話があり、駅のホームでは、米原付近は雪なので、新幹線は名古屋以西は遅延するとのアナウンス。吹雪の山形から来て帰るとい友人、無事帰れたかしら…。こうして真冬に突入し、年の瀬は慌しく過ぎます。◆今回は、お詫び申し上げます。12月の文庫に私用で参加できなくなりました。それで、その準備に早めにやってきました(今は11日)。◆昨日はスタッフNさんが、クリスマスツリーを飾ってくれました。クリスマスおたのしみ会のお菓子も袋詰めできています。おとな子どももご参加くださいね。◆話変わって、先日、町田市鶴川の新しい市民ホールや図書館の複合施設開館記念に友人が出演したので行ってきました。テーマは<私たちは忘れない3.11>で、町田出身の被災地・陸前高田市長が、1年8ヶ月たった現状を話されました。人々の暮らしは少しずつもとに戻ってはきたものの、大本の市ぐるみの復興は中央の動きがにぶくて殆ど変わっていない、と訴えておられました。聞いてみないと私たちはわからないものです。私たちは支援の方法を考えねばなりませんね。友人は新井満作『希望の木』(陸前高田の海岸にたった1本残った松の木の話)を朗読しました。◆今年は、私事ですが母を亡くしました。文庫スタッフのひとりとは若い娘を亡くし、孫の世話に東京を往復しています。でも、月日は、悲しみを癒し、あらたな希望も運んでくれます。◆1年間、文庫をご利用くださり有難うございました。お元気で新年にまたお目にかかりたいと思います。(西村)

来年も楽しい企画をたてたいと思います。文庫でこんなことをやってみたら、と思いつかれた方はどうぞ、お知らせ下さい。今年、新たにひとつ加わったのが、『本について語りましょう会』です。先月の記録が文庫だより2にあります。読んでみてください。
 ☆森林浴さんの読後感想文は、別紙2に掲載しております☆

☆☆今後の開館スケジュール☆☆
 ◆12月は通常15日(土)、16日(日)
 ◆2013年1月は通常19日(土)、20日(日)
 ! ◆2月は4週に変更。23日(土)、24日(日)
 ◆3月は通常16日(土)、17日(日)
 ◆4月は通常20日(土)、21日(日)
 ※文庫の時間：土曜日は午後2時～5時、
 日曜日は午前10時～午後3時
 ※毎月開館日の日曜には、「子どものための小さなおはなし会」があります。
 午前10：30～11：00
 《楽しんで読み聞かせ・頑張っておはなし》
 おはなし・沙羅の勉強会は
 毎月第3土曜11：00～13：00
 ☆みなさん、伊豆での楽しい過ごし方、ホットニュースを寄稿してください。

連絡先 沙羅の樹文庫 電話：0557-51-3737

沙羅の樹文庫だより



もぐらくんとクリスマス (偕成社刊)

手のひらに 冬日集まる 過去未来

(ソウル在住 金利恵さん/日経新聞掲載)

人の手を 借りて冬ばら 凜と咲く

(文庫のバラ、お世話係の行き届いた手入れで、見事に咲いています。金さんを真似て一句・さら)

2012年もカウントダウンに入りました。

クリスマスおたのしみ会 プログラム

おはなし・海の水はなぜしょっぱい 片岡晴哉
 フルート合奏 内山洋子・伊藤楓音/颯岳
 ・ 諸人こぞりて・もみの木・ジングルベル
 ・ 荒野のはてに・聖夜 (みんなで歌おう)
 ♥たのしいプレゼント交換・おやつタイム♥

楽しいクリスマス、穏やかな年末をお過ごしください！